

令和 6 年度

指定管理者による公の施設の管理状況に対する評価表

富 山 市

評価対象施設一覧

No.	施設名	施設所管課	現指定管理者	ページ
1	富山国際会議場	コンベンション・薬業物産課	富山大手町コンベンション株式会社	1
2	富山市まちなか賑わい広場	まちづくり推進課	株式会社富山市民プラザ	7

令和6年度 指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 基礎情報

施設名	富山国際会議場		
所管課	コンベンション・薬業物産課		
指定管理始期／終期	令和6年4月1日	～	令和7年3月31日
指定管理期間	1 年		
公募／非公募	非公募		
指定管理者名	富山大手町コンベンション株式会社		
料金区分	利用料金制		
施設の設置目的 （条例の設置目的）	市民文化の向上及び国際交流の促進を図るため		

2 利用者数の状況

利用者数及び開館日数

年度	R5	R6（見込み）	
利用者数	71,111	45,000	（人）
開館日数	267	233	（日）

料金収入

年度	R5	R6（見込み）	
収入額	110,528	69,584	（千円、税抜）

3 利用者数の増加（減少）の理由

今期間中の利用者数は45,000人（見込み）である。令和6年度は令和7年1月から2月までの大規模改修工事に伴い休館になることから、利用者数については、前期間中（令和3～5年度）の年平均61,665人（令和3年度47,659人、令和4年度66,225人、令和5年度71,111人）と比較すると減少が見込まれる。なお、令和5年度はコロナ禍も落ち着きをみせており、G7教育担当大臣会合が開催されたことやコロナ禍で順延されていた大型催事が多数行われたことから、令和3年度、令和4年度と比較すると増加している。

4 収入の増加（減少）の理由

令和5年度の料金収入は令和4年度に比べ収入が1千万円以上増加した。これは、G7教育担当大臣会合が開催されたことやコロナ禍で順延されていた大型催事が多数行われたことによる。なお、令和6年度については、前記3の大規模改修工事に伴う休館による利用者数の減少の可能性を考慮して、減収の見込みとした。

5 評価項目

（１）サービス向上に向けた取組み

コーディネーターを配置し、各種催事の計画・打合せ・設営・本番まできめ細かくサポートし、主催者の満足度を高めるとともに、信頼関係を築き、リピーター増に努めている。運営マニュアル作成研修を実施し、条例に基づいた適切な運用とホスピタリティ醸成を図っている。ニーズに合った貸出備品を市と協議して見直した。

（２）利用促進に向けた取組み

富山県、富山市、富山県コンベンションビューローにより地域連携誘致活動の展開に寄与している。また、HPの更新やリピーターや問合せのあった先へメールマガジンを定期発信し、オンラインなどの新しい使い方の提案、商工会議所機関紙等を利用した施設のPRも適宜実施している。

（３）利用者のニーズ把握や苦情処理への取組み

苦情・要望などについては、適宜対応を講じるとともに、必要に応じて市の関係部署との連携及び報告をしている。
利便性の向上のため、２階トイレを和式から洋式に変更し、国際会議場とANAホテルの地下１階連絡通路の床を滑りにくい材質に変更した。

（４）関係団体等との連携

館内での飲食物等の提供を協力業者と連携し、円滑化を図っている。

（５）施設・設備の維持管理

催事者への貸出に支障がないよう、利用上の注意喚起を強化し、迅速な修繕で対応している。
令和６年度にエレベーターやエスカレーターの更新を含む大規模改修を実施するため、工事請負契約を締結済みである。
メンテナンスとしては、毎月１回の点検日、年１回の大点検（舞台、照明、電気設備、音響、映像など）の他、エレベーター（月１回）、エスカレーター（月１回）、消防機器（年２回）などについても、催事利用状況を勘案しながら実施している。

（６）個人情報保護の取組み

指定管理者の個人情報保護規定を遵守している。

（７）危機管理・安全管理等の取組み

消防訓練は、通報、消火、避難誘導を主体として年２回実施している。
消防用マニュアルを作成するとともに、施設内各部屋に避難誘導マニュアルを設置している。
感染症対策として、施設各入口に消毒液を配置している。
食品衛生の観点から、飲食提供とパントリー使用の見直しを常に行っている。

（８）所管課の管理運営確認状況

- ア 管理業務報告書等の受理
- イ 市担当職員による現地確認
- ウ 個人情報に関するトラブルの有無
- エ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無

実施の有無	過去2年間の実績
有	月1回×2年＝24回
有	月2回×2年＝48回
無	－
無	－

【その他トラブルの具体的内容と対応】

特になし

（９）今後の課題及び次回選定時に反映させるべき改善点等

・エレベーター、エスカレーターの更新を含む大規模改修工事を円滑に行い、「グレードの高い最先端の設備とサービス」の維持向上に努める。

・コーディネーターの配置を活かした営業活動の強化

・「G7 教育大臣会合」など豊富な国際会議の開催実績をもとに、更なるコンベンション誘致に努め、会議場の収益の向上を図る。

6 指定管理業務に係る収支の推移(単位:千円)

(1) 指定管理者の収支

①事業計画(指定申請書等提出)時点

歳入		制度導入 直前年度	R5年度	R6年度 (見込)
	委託料		125,793	107,320
	補助金 (人件費)		23,578	9,548
	利用料金		18,748	75,642
	その他		499	10
	合計		168,618	192,520

歳出	人件費		23,578	9,548
	管理費		144,919	182,972
	その他		121	0
	合計		168,618	192,520

収支	0	0
----	---	---

②実績

歳入		制度導入 直前年度	R5年度	R6年度 (見込)
	委託料		106,380	98,572
	補助金 (人件費)		10,280	9,548
	利用料金		121,581	76,542
	その他			10
	合計		238,241	184,672

歳出	人件費		10,791	9,548
	管理費		179,263	182,972
	返還指定管理料		20,855	0
	修繕費(未払)		27,843	0
	合計		238,752	192,520

収支	-511	-7,848
----	------	--------

③事業計画（指定申請書等提出）時点と実績の収支の差

	R5年度	R6年度 (見込)
①事業計画の収支	0	0
②実績の収支	-511	-7,848
差 (②－①)	-511	-7,848

④事業計画と実績の収支の差についての見解、特記事項等

令和5年度の歳入については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し利用料金を低く設定したが、想定よりも利用が多かったことが差額の要因となっている。歳出については、能登半島地震の影響により当初想定しなかった修繕費が生じたことが差額の要因となっている。なお、令和6年度は令和7年1月から2月までの大規模改修工事に伴い休館になることから、利用者数が減少し、利用料金の減収が見込まれる。

(2) 富山市の収支

①実績

歳入		制度導入 直前年度	R5年度	R6年度 (見込)
	使用料		0	0
	県支出金		85,869	83,348
	県支出金還付金		-5,214	0
	委託料返還金		20,855	0
	合計		101,510	83,348

歳出	委託料		106,380	98,572
	補助金 (人件費)		10,280	9,548
	大規模修繕元利償 還金補助金		170,113	168,956
	その他		67,392	70,264
	合計		354,165	347,340

収支	-252,655	-263,992
----	----------	----------

②市の歳出入の増減についての見解、特記事項等

令和5年度の利用料収入については、コロナ禍の影響による施設利用の減少を考慮のうえ、委託料の予算を増額し積算していた。コロナ禍で順延されていた大型催事が一斉に行われ、施設利用収入が回復したことから、委託料に余剰が生じたため、精算を行った。なお、令和6年度は令和7年1月から2月までの大規模改修工事に伴い休館になることから、利用者数が減少し、利用料金の減収が見込まれるため、令和5年度の実績よりも委託料予算を増額した。

7 自主事業の実施状況**(1) 指定管理者指定申請書提出時における状況**

「様式第5号 自主事業に関する提案書」への記載状況 →

あり

「あり」の場合、記載内容及び実際の実施状況

事業①

事業内容

備品等の有償貸出事業（備品等の有償貸出、飲み物の販売、弁当・ケータリング等の取次）

実施の有無 →

あり

実施しなかった場合、その理由

(2) 指定期間開始後に申請のあった自主事業

※上記（1）で記載した事業は除く。

事業①

事業内容

該当なし

(3) 自主事業の収支状況

		R5年度	R6年度 (見込)
歳入	物販販売		
	手数料等	2,075	1,111
	合計	2,075	1,111

歳出			
	合計	0	0

収支	2,075	1,111
----	-------	-------

(4) 自主事業の実施状況についての見解、特記事項等

コロナ禍前には、展示やセミナーなどの自主事業を実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響から、イベントの実施が困難になった。交流ギャラリーを拡張したことから、今後はより広い空間を活用した多様な自主事業を期待したい。

令和6年度 指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 基礎情報

施設名	富山市まちなか賑わい広場（グランドプラザ）		
所管課	まちづくり推進課		
指定管理始期／終期	令和2年4月1日	～	令和7年3月31日
指定管理期間	5年		
公募／非公募	非公募		
指定管理者名	株式会社 富山市民プラザ		
料金区分	利用料金制		
施設の設置目的 （条例の設置目的）	中心市街地において市民の交流を促進し、賑わいを創出するため。		

2 利用者数の状況

利用者数及び開館日数

年度	R2	R3	R4	R5	R6（見込）	
利用者数	—	—	—	—	—	（人）
開館日数	323	334	365	351	365	（日）

料金収入

年度	R2	R3	R4	R5	R6（見込）	
収入額	4,411	10,584	15,600	12,613	13,327	（千円）

3 利用者数の増加（減少）の理由

令和2年度より新型コロナウイルス感染症対策の観点から自主イベントの縮小、延期、中止の対応を行った。また令和3年8月に通知のあった『市の公の施設等の臨時休館依頼』に対応したこともあり、利用者数が減少した。現在、新型コロナウイルスが5類感染症となっており、少しずつではあるものの利用者数は増加している。

4 収入の増加（減少）の理由

上記の対応により令和2～3年度については広場利用料が減少した。令和4年度はコロナ禍によるイベント自粛の反動と比較的安全とされた屋外会場であったことから過去最高の利用料となった。（令和5年度は新しくオープンしたオーバードホール（中ホール）などの屋内会場に利用者が流れたことで利用料が減少した。）

5 評価項目

（1）サービス向上に向けた取組み

広場利用者や自主イベント入場者への利用者アンケートを実施している。回答を参考にスタッフ対応業務の改善やイベント開催後の反省会の実施により当該イベントのブラッシュアップに努めている。

（2）利用促進に向けた取組み

広場利用を検討しているお客様については手軽に申請できるホームページからの手続きに誘導するとともに、時間が取れる限り広場まで出向いて貰い、お客様とのフェイスtoフェイスの環境をつくり、利用申込向上に向けた打ち合わせを行っている。

（3）利用者のニーズ把握や苦情処理への取組み

利用者アンケートを活用し利用者のニーズを把握している。お客様とのトラブルは発生していないものの、トラブル発生防止の観点からお客様との打ち合わせの際、時間をかけて利用上の注意事項を説明している。また利用『同意書』の署名をいただいている。

（4）関係団体等との連携

総曲輪通りや富山市中心市街地の賑わいに繋がるイベントとしてNPO法人GPネットワークなどと連携し『実例：カジュアルワイン会』などのイベントを定期的実施している。

（5）施設・設備の維持管理

設備メンテナンス等の点検業務については専門業者に委託しており、設備不具合の発見漏れが発生しないよう点検周期を設け、対応している。

（６）個人情報保護の取組み

情報漏洩防止の観点からお客様情報が記載されている関係資料については個別ファイル管理による厳正な保管（キャビネット保管、管理）の実施。尚、不要となったお客様情報（書類）はシュレッダーにて粉碎処理している。尚、ホームページ上のイベントカレンダーに掲載される主催者情報はお客様の許可を得ている。

（７）危機管理・安全管理等の取組み

第三者事故、災害防止対策としてお客様へ備品を貸出する場合、扱い方の説明を実技形式で実施している。広場利用時における連絡体制の面では事故傷害が発生した場合に備え、緊急連絡先や担当者の再確認とスタッフの勤務体制を整えている。

（８）所管課の管理運営確認状況

	実施の有無	過去３年間の実績
ア 管理業務報告書等の受理	有	月1回（計36回）
イ 市担当職員による現地確認	有	随時
ウ 個人情報に関するトラブルの有無	無	0件
エ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無	無	0件

【その他トラブルの具体的内容と対応】

特になし。

（９）今後の課題及び次回選定時に反映させるべき改善点等

賃金の上昇と働き手不足により、委託会社からの委託費増額の要望が増えている。現在の指定管理料では賄えなくなっている。設備管理の面では設備機器等のメーカーが推奨する耐用年数を超え、廃番となっている機器も多いことから更新などの検討を早期に実施することが望ましい。

6 指定管理業務に係る収支の推移 (単位：千円)

(1) 指定管理者の収支

①事業計画 (指定申請書等提出時点)

	制度導入 直前年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (見込)
歳入 委託料		8,203	8,203	8,203	8,203	8,203
補助金 (人件費)		19,500	19,500	19,500	19,500	19,500
利用料金		14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
合計		41,703	41,703	41,703	41,703	41,703

歳出 人件費		19,500	19,500	19,500	19,500	19,500
管理費		22,203	22,203	22,203	22,203	22,203
その他		0	0	0	0	0
合計		41,703	41,703	41,703	41,703	41,703

収支	0	0	0	0	0
----	---	---	---	---	---

②実績

	制度導入 直前年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (見込)
歳入 委託料		9,068	8,023	7,230	7,230	7,230
補助金 (人件費)		19,313	19,500	19,500	19,500	19,500
利用料金		4,411	10,584	15,600	12,613	13,327
合計		32,792	38,107	42,330	39,343	40,057

歳出 人件費		19,313	25,597	21,045	25,699	20,170
管理費		15,574	16,943	17,860	16,968	20,557
その他		0	0	0	0	0
合計		34,887	42,540	38,905	42,667	40,727

収支	-2,095	-4,433	3,425	-3,324	-670
----	--------	--------	-------	--------	------

③事業計画と実績の収支の差

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (見込)
①事業計画の収支	0	0	0	0	0
②実績の収支	-2,095	-4,433	3,425	-3,324	-670
差 (②－①)	-2,095	-4,433	3,425	-3,324	-670

④事業計画と実績の収支の差についての見解、特記事項等

令和2～3年度までコロナ感染症対策に伴い、イベントの開催、参加への自粛ムードが続いていた。令和4年度頃の行動制限緩和傾向となったことで移動販売車（キッチンカー）による飲食営業に転じるお店も増えたこともあり、広場を利用されるお客様からの申込みが増加し、特に令和4年度は一時的に収入が増えた。

(2) 市の収支

①実績

	制度導入 直前年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (見込)
歳入	使用料					
	その他					
	委託料 精算等					
	合計	0	0	0	0	0

歳出	委託料	9,068	8,023	7,230	7,230	7,230
	補助金 (人件費)	19,313	19,500	19,500	19,500	19,500
	修繕費					
	その他					
	合計	28,381	27,523	26,730	26,730	26,730

収支	-28,381	-27,523	-26,730	-26,730	-26,730
----	---------	---------	---------	---------	---------

②市の歳入歳出の増減についての見解、特記事項等

令和2年度、令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のために実施した臨時休館措置による利用料収入の減収分の補填に伴い、管理業務委託を増額した。

7 自主事業の実施状況

(1) 指定管理者指定申請書提出時における状況

「様式第5号 自主事業に関する提案書」への記載の有無 →

有

「有」の場合、記載内容及び実際の実施状況

事業①

事業内容

・超絶！ザ・SUGOWAZA SHOW（パフォーマーによる大道芸等）
参加（見込）人数：1回あたり700人（親子連れをターゲットとする）

実施の有無 →

有

実施しなかった場合、その理由

事業②

事業内容

・富山こすぷれフェスタ（アニメ好き、コスプレイヤーの祭典）
参加（見込）人数：2,500人（コスプレイヤー、アニメ等カルチャー好きな方をターゲットとする）

実施の有無 →

有

実施しなかった場合、その理由

事業③

事業内容

・ハロウィンナイト（ハロウィンワークショップの開催、仮装体験、フォトロケーション設置）
参加（見込）人数：3,000人（親子、若者をターゲットとする）

実施の有無 →

無

実施しなかった場合、その理由

令和2～3年度に計画。仮装やボディーペイント体験ができるブースを設けるなど参加者同士が直接触れ合う（濃厚接触に近い状態）イベントを計画していたが新型コロナウイルス感染対策の一環としてイベント開催の自粛ムードが高まっていたことを踏まえて中止とした。

(2) 指定期間開始後に申請のあった自主事業

※上記(1)で記載した事業は除く。

事業①

事業内容

--

事業②

事業内容

--

(3) 自主事業の収支状況

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (見込)
歳入	補助金(市)	0	500	0	0
	補助金(県)	0	2,500	0	0
	イベント収入	0	2,654	55	0
	委託料	3,420	7,642	2,500	300
	合計	0	3,420	13,296	2,555

歳出	自主事業費	0	0	0	0
	委託費(人件費含)	2,855	11,838	1,910	270
	管理・雑費	565	1,458	590	30
	その他	0	0	0	0
	合計	0	3,420	13,296	2,500

収支	0	0	0	55	0
----	---	---	---	----	---

(4) 自主事業の実施状況についての見解、特記事項等

令和2～3年度までコロナ感染症対策に伴い、イベントの開催、参加への自粛ムードが続く中、参加者同士ができるだけ接触しないような内容に変更したり、感染対策(マスク着用など)にも工夫をしながらイベントを開催した。